

平成 29 年度

# 入学者選抜要項

- 一般入試（個別学力検査：前期日程・後期日程）  
（インターネット出願）
- 推薦入試（一般枠・地域枠）
- 帰国生徒特別入試
- 私費外国人留学生特別入試

## 奈良教育大学

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町

奈良教育大学入試課

TEL 0742-27-9126

E-mail [nyuusi@nara-edu.ac.jp](mailto:nyuusi@nara-edu.ac.jp)

ホームページ <http://www.nara-edu.ac.jp/>

# 目 次

インターネット出願の利用について	1
I. 入学定員及び募集人員	2
II. 平成 29 年度奈良教育大学入学試験日程一覧	3
III. 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	4
IV. 個別学力検査等への出願について	4
V. 一般入試(個別学力検査等)	5
1. 出願資格	5
2. 選抜方法	6
3. 個別学力検査の日程	6
4. 調査書	6
5. スポーツ・運動歴調書	6
VI. 推薦入試	6
1. 推薦入試(一般枠)	6
2. 推薦入試(地域枠)	6
3. 推薦入試の日程	7
VII. 帰国生徒特別入試	7
VIII. 私費外国人留学生特別入試	7
IX. 障害を有する入学志願者との事前相談	7
1. 相談の期日	7
2. 相談の方法	7
3. 提出先	7
X. 学生募集要項の請求方法等	8

※大学入試センター試験の出題教科・科目名は、次のように略しています。

- 国語 → 国  
「国語」 → 「国」
- 地理歴史 → 地歴  
「世界史 A」 → 「世 A」、「世界史 B」 → 「世 B」、「日本史 A」 → 「日 A」、「日本史 B」 → 「日 B」、「地理 A」 → 「地理 A」、「地理 B」 → 「地理 B」
- 公民 → 公民  
「現代社会」 → 「現社」、「倫理」 → 「倫」、「政治・経済」 → 「政経」、「倫理、政治・経済」 → 「倫政経」
- 数学 → 数  
「数学 I」 → 「数 I」、「数学 I・数学 A」 → 「数 I・数 A」、「数学 II」 → 「数 II」、「数学 II・数学 B」 → 「数 II・数 B」、「簿記・会計」 → 「簿」、「情報関係基礎」 → 「情報」
- 理科 → 理  
「物理基礎」 → 「物基」、「化学基礎」 → 「化基」、「生物基礎」 → 「生基」、「地学基礎」 → 「地基」、  
「物理」 → 「物」、「化学」 → 「化」、「生物」 → 「生」、「地学」 → 「地」
- 外国語 → 外  
「英語(リスニングを含む)」 → 「英・英リ」、「ドイツ語」 → 「独」、「フランス語」 → 「仏」、「中国語」 → 「中」、「韓国語」 → 「韓」

# インターネット出願の利用について

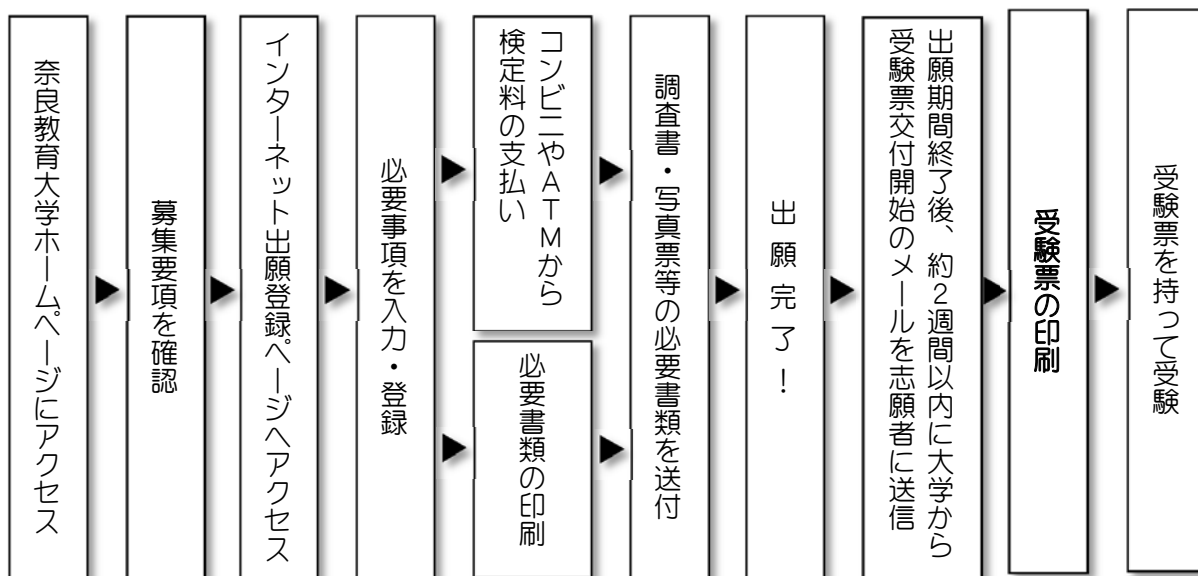
一般入試（前期日程・後期日程）は、インターネットによる出願となっています。インターネット出願の特徴や、出願までの流れは以下のとおりです。

ただし、推薦入試、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試は、インターネット出願でなく、所定の願書による出願となりますので、ご注意ください。

## インターネット出願の特徴

- ① 出願手続きが「インターネットによる出願登録」→「検定料の支払い」→「出願書類の郵送」の3ステップで完了します。
- ② 募集要項・出願書類の取り寄せが不要ですので、取り寄せる時間の節約ができ、取り寄せにかかる費用も発生しません。
- ③ 24時間いつでも出願登録ができます。
- ④ コンビニやATMから検定料の支払いができます。

## 一般入試（前期日程・後期日程）におけるインターネット出願の流れ



- ・ 自宅以外のパソコンからでも出願できます。
- ・ インターネット出願利用マニュアルを備えますので、安心してください。
- ・ 事情によりインターネットを利用できない場合は入試課まで連絡してください。
- ・ 一般入試（前期日程・後期日程）募集要項については、11月以降にホームページ上で公表いたしますので募集要項の取り寄せは不要です。冊子での配布は予定しておりません。

# I. 入学定員及び募集人員

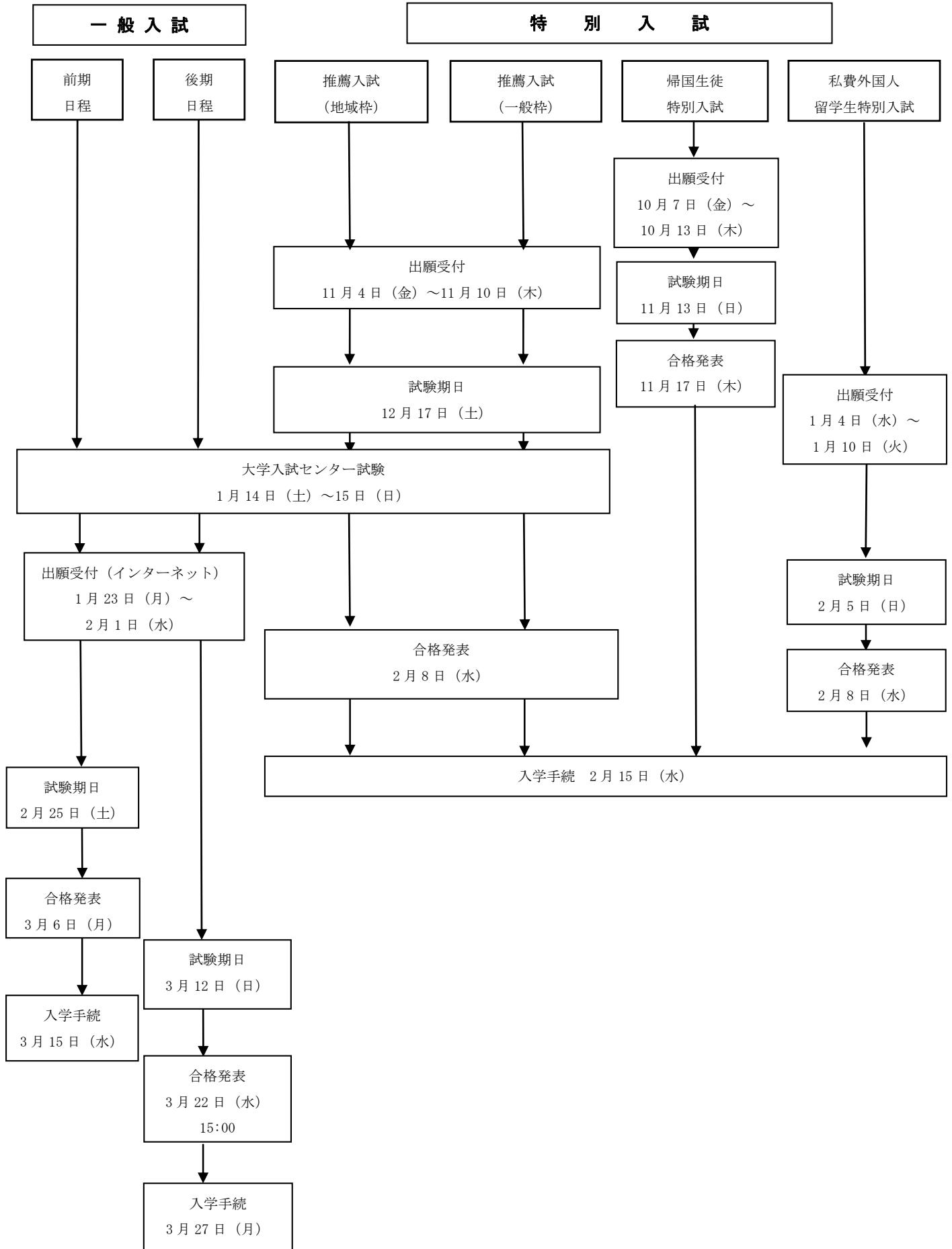
課程・専攻	専修・履修分野	入学定員(名)	募集人員(名)	募集人員内訳(名)						
				一般入試		特別入試				
				前期日程	後期日程	推薦入試(注1)		帰国生徒	私費外国人留学生	
		一般枠	地域枠							
学校教育 専攻 課程	教育学専修	255	15	9	3	—	3	若干名	若干名	
	心理学専修		15	9	3	—	3	—		
	幼年教育専修		13	8	3	2	—			
	特別支援教育専修		12	7	3	—	2			
	国語教育専修	初等教育履修分野	25	13	9	2	—	2	—	
		中等教育履修分野		12	8	2	2	—		
	社会科教育専修	初等教育履修分野	25	14	10	2	—	2		
		中等教育履修分野		11	7	2	2	—		
	数学教育専修	初等教育履修分野	26	14	9	3	—	2		
		中等教育履修分野		12	8	2	2	—		
	理科教育専修	初等教育履修分野	29	17	11	4	—	2		若干名
		中等教育履修分野		12	7	3	2	—		若干名
	音楽教育専修	初等教育履修分野	18	14	8	4	—	2		若干名
		中等教育履修分野		4	3	1	—	—		
	美術教育専修	初等教育履修分野	11	7	3	2	—	2		
		中等教育履修分野		4	3	1	—	—		
	保健体育専修	初等教育履修分野	19	11	6	3	—	2		
		中等教育履修分野		8	4	2	2	—		
	家庭科教育専修	初等教育履修分野	9	5	3	1	—	1		
		中等教育履修分野		4	3	1	—	—		
技術教育専修	中等教育履修分野	4	3	1	—	—				
英語教育専修	中等教育履修分野	12	6	4	2	—	若干名			
書道教育専修	書道教育専修	15	9	6	—	—	—	若干名		
	文化遺産教育専修	7	5	2	—	—				
合計		255	255	158	60	14	23	若干名	若干名	

(注1) 推薦入試(一般枠・地域枠)は、大学入試センター試験を課す推薦入試です。推薦入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、前期日程の募集人員に加えます。

(注2) 教科教育専攻は、一般入試(前期日程のみ)において、同一専修の初等教育履修分野又は中等教育履修分野のいずれかを第一志望に、他方を第二志望にすることができます(技術教育専修、英語教育専修を除く)。

(注3) 帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試の入学手続者がいた場合は、一般入試の募集人員から当該数を減じます。

## II. 平成 29 年度奈良教育大学入学試験日程一覧



### Ⅲ. 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

奈良教育大学は、高い知性と豊かな教養を備えた人材、とりわけ人間形成に関する専門的力量を備えた有能な教員及び教育者を育てるとともに、この地域に特色のある文化の向上を図ることを目的としています。このため、次のような学生を求めます。

- 1 教育に対する関心と教職への意欲がある人
- 2 子ども(人間)への関心を持ち、共感できる人
- 3 豊かな基礎学力と幅広い問題への関心を持ち、自分の探求したい得意分野がある人

#### 入学者選抜の基本方針

奈良教育大学は、教育学部の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、一般入試(前期日程・後期日程)、推薦入試(一般枠・地域枠)、帰国生徒特別入試ならびに私費外国人留学生特別入試により入学者を選抜します。

### Ⅳ. 個別学力検査等への出願について

国立大学の個別学力検査等については、分離・分割方式によって実施します。

#### 分離・分割方式

- (1) 入学定員を「前期日程」と「後期日程」の二つに分け、先ず、「前期日程」の試験を実施し、その合格者の発表を行い、合格者に入学手続を行わせ、次に、「後期日程」の試験の実施とその合格者の発表を行い、入学手続を行わせる。
- (2) この際、「前期日程」の試験に合格し、所定の期日までに入学手続を完了した者については、「後期日程」に出願し、受験しても、「後期日程」の大学・学部合格者とはしない。
- (3) 「前期日程」又は「後期日程」の試験に合格し、その入学手続を行わなかった者は、その「前期日程」又は「後期日程」の大学・学部への入学を辞退したものと取り扱う。

国立大学志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、合計二つまでの大学・学部に出願し、受験することができます。

従って、「前期日程ー前期日程」、「後期日程ー後期日程」の組合せでの併願はできません。

**本学は、分離・分割方式(前期日程・後期日程)で個別学力検査を実施します。**

従って、本学の「前期日程」に出願する者は、本学の「後期日程」又は他の国立大学の「後期日程」に出願することができます。本学の「後期日程」に出願する者は、本学の「前期日程」又は他の国立大学の「前期日程」に出願することができます。

#### 「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」及び「提供大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は「<http://www.nyushikakomon.jp/>」にて公表しておりますが、不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。

## V. 一般入試(個別学力検査等)【インターネット出願】

一般入試(個別学力検査)に出願する場合は、**インターネットによる出願**を行ってください。ただし、事情によりインターネットによる出願ができない場合は、入試課まで連絡してください。

### 1. 出願資格

本学に入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、**平成 29 年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験した者**です。

※ 本学は、平成 28 年度大学入試センター試験の成績は利用しません。

- (1) 高等学校(特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者及び平成 29 年 3 月卒業見込みの者
  - (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)及び平成 29 年 3 月修了見込みの者
  - (3) 学校教育法施行規則第 150 条における以下の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたと者及び平成 29 年 3 月末までにこれに該当する見込みの者
    - ア. 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
    - イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
    - ウ. 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
    - エ. 文部科学大臣の指定した者(昭和 23 年文部省告示第 47 号)
    - オ. 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
    - カ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたと者で、平成 29 年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者
- [注]上記(2)に該当する者は、高等専門学校の第 3 年次を修了した者です。

### 個別の入学資格審査の申請方法等

上記出願資格(3)カ.により出願を希望する者については、事前に個別の入学資格審査を行います。平成 29 年度入学試験においては、高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者が対象ですので、以下により申請してください。

#### (1) 申請期間

大学入試センター試験を受験する者：平成 28 年 8 月 15 日(月)～8 月 19 日(金)(必着)

本学の個別学力検査を受験する者：平成 29 年 1 月 16 日(月)～1 月 18 日(水)(必着)

#### (2) 申請先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

電話:0742-27-9126

※ 申請書類を郵送する場合は、封筒表面に「大学入学資格審査申請書類在中」と朱書きするとともに、書留郵便とすること。

#### (3) 申請書類

##### ① 入学資格審査申請書様式

窓口、本学ホームページ(<http://www.nara-edu.ac.jp/>)及び郵送にて配布します。郵送による配布を希望する方は、表に「入学資格(一般入試)審査申請書請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒(82 円切手を貼り、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形 3 号定形郵便封筒)を入れて、入試課まで送付してください。

② 当該学校の教育課程が高等学校の教育課程と同等であることが証明できる書類(学則など)

③ 当該学校の教育内容等が証明できる書類(カリキュラム表、授業時間数一覧など)

④ 卒業証明書又は卒業見込証明書

⑤ 申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した返信用封筒(長形 3 号定形に 392 円切手を貼付したもの)

#### (4) 審査基準

申請者の当該学校の教育課程等(修業年限、年間及び週当たりの授業時間数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数等)が高等学校学習指導要領に準じているかを調査し、高等学校と同等以上であることを審査します。

#### (5) 審査結果の通知

審査の結果は、申請者宛に郵送により通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学入学資格認定書」を同封します。

資格認定を受けた者は、出願書類に「奈良教育大学入学資格認定書(写)」を添付してください。

## 2. 選抜方法

- (1) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績と、調査書等の内容を総合して選抜します。
- (2) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目・配点及び個別学力検査等の教科・科目・配点は、**10～18 ページの別表 1**を参照してください。  
また、実技検査等の内容・評価の観点は、**19 ページの別表 2**を、小論文の内容・評価の観点、**20 ページの別表 3**を、面接の内容・評価の観点、**20 ページの別表 4**を参照してください。
- (3) 入学手続締切後、入学者が定員に満たない場合は、追加合格により欠員補充を行います。なお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行います。

## 3. 個別学力検査の日程

前期日程 平成 29 年 2 月 25 日(土)

後期日程 平成 29 年 3 月 12 日(日)

## 4. 調査書

文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封されたものを提出してください。

## 5. スポーツ・運動歴調書

保健体育専修志願者は、スポーツ・運動歴調書を提出してください。

## VI. 推薦入試

### 1. 推薦入試(一般枠)

- (1) 出身学校長の推薦に基づき個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、自己申告書、大学入試センター試験の成績及び面接等の結果を総合して選抜します。
- (2) 専修別の募集人員、出願要件、選抜方法、出願期間及び平成 29 年度大学入試センター試験の利用教科・科目名等については、**21 ページの別表 5 (その 1)**のとおりです。  
なお、面接の内容・評価の観点は**23 ページの別表 5 (その 3)**のとおりです。
- (3) 保健体育専修志願者は、スポーツ・運動歴調書を出願時に提出してください。

### 2. 推薦入試(地域枠)

- (1) 奈良県内の高等学校(特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。)に所属する者を、出身学校長の推薦に基づき個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、自己申告書、公的な受賞歴・競技会・コンクール等への参加歴及び公的な資格調書、大学入試センター試験の成績及び面接等の結果を総合して選抜します。
- (2) 専修別の募集人員、出願要件、選抜方法、出願期間及び平成 29 年度大学入試センター試験の利用教科・科目名等については、**22 ページの別表 5 (その 2)**のとおりです。  
なお、面接の内容・評価の観点は**24 ページの別表 5 (その 4)**のとおりです。
- (3) 音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修志願者は下記の点に留意してください。
  - ① 音楽教育専修志願者は、実技試験を実施します。実技検査の内容・評価の観点は、**24 ページの別表 5 (その 5)**のとおりです。
  - ② 美術教育専修志願者は、高校生活の中での「<美術作品または美術的な活動>証明書」がある場合は出願時に提出してください。また、「<美術作品または美術的な活動>証明書」に記載した「実物またはそ



の写真」や関係資料（2点以内）等を試験当日持参してください。

- ③ 保健体育専修志願者は、スポーツ・運動歴調書を出願時に提出してください。

### 3. 推薦入試の日程

推薦入試(一般枠・地域枠) 平成28年12月17日(土)

## Ⅶ. 帰国生徒特別入試

- (1) 海外に在住し、又は在留していた日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で日本と異なる外国の文化の中で育ち、かつ、外国の学校等で教育を受けた豊かな国際経験を有する者に対し、大学教育の機会を与えるとともに、海外で得た体験を伝えることにより、学生及び大学全体の国際化につながることを期待し、一般の入学者選抜方法とは別に特別入試を実施します。
- (2) 大学入試センター試験を免除し、出願書類(自己推薦書、成績証明書(調査書)等)、小論文及び面接等の結果を総合して選抜します。
- (3) **試験期日 平成28年11月13日(日)**
- (4) 募集人員、出願要件、選抜方法、出願期間等は **25 ページの別表6** のとおりです。

## Ⅷ. 私費外国人留学生特別入試

- (1) 国際理解・国際協調の観点から、本学においては国際交流の推進に積極的に取り組み、諸外国において活躍しうる有能な人材を養成することを目的として、一般の入学者選抜方法とは別に特別入試を実施します。
- (2) 大学入試センター試験を免除し、日本留学試験の成績と、本学で実施する試験の成績及び面接等の結果を総合して選抜します。
- (3) **試験期日 平成29年2月5日(日)**
- (4) 募集人員、出願要件、選抜方法、出願期間等は **26 ページの別表7** のとおりです。

## Ⅸ. 障害を有する入学志願者との事前相談

本学を受験する障害を有する入学志願者で、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする場合は、本学に申し出て必ず事前に相談してください。

### 1. 相談の期日

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| (1) 推薦入試への出願者         | 平成28年10月14日(金)まで |
| (2) 帰国生徒特別入試への出願者     | 平成28年9月16日(金)まで  |
| (3) 私費外国人留学生特別入試への出願者 | 平成28年12月9日(金)まで  |
| (4) 個別学力検査等への出願者      | 平成29年1月18日(水)まで  |

### 2. 相談の方法

次の事項を記載した相談書類(様式任意)に医師の診断書を添付して提出してください。

- (1) 氏名及び出身学校名
- (2) 障害の種類、程度
- (3) 志望予定専修名
- (4) 受験上の特別な措置を希望する事項
- (5) 修学上の特別な配慮を希望する事項
- (6) 出身学校でとられていた特別措置等の事項
- (7) 日常生活の状況
- (8) 連絡先(住所、電話番号等)

### 3. 提出先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

## X. 学生募集要項の請求方法等

### 〔募集要項の種別と発表予定時期〕

募集要項の種別	発表予定時期
推薦入試	平成 28 年 8 月下旬
帰国生徒特別入試	平成 28 年 9 月上旬
私費外国人留学生特別入試	平成 28 年 11 月上旬
(参考)一般入試 (ダウンロードにより入手)	平成 28 年 11 月上旬 (ホームページでのみ公表)


学生募集要項(出願の詳細、出願書類等を含む要項)の請求方法は次の通りです。

#### 1. 〔テレメール〕大学のホームページから請求する場合

奈良教育大学のホームページに掲載のテレメールにより、直接請求できます。詳しくは本学ホームページ (<http://www.nara-edu.ac.jp/admissions/>) をご覧ください。

#### 2. 〔テレメール〕インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)または自動音声応答電話で請求する場合

(1) 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネットの場合 (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a>	スマートフォン・携帯電話で、 バーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。	
自動音声応答電話の場合	I P 電話 050-8601-0101 (24 時間受付)		

(2) 請求を希望する資料請求番号(6桁)を入力してください。

資料名	資料請求番号	発送開始日
大学案内+推薦入試学生募集要項	585662	平成 28 年 8 月下旬
推薦入試学生募集要項	545762	平成 28 年 8 月下旬
大学案内+帰国生徒特別入試学生募集要項	545772	平成 28 年 9 月上旬
帰国生徒特別入試学生募集要項	545782	平成 28 年 9 月上旬
大学案内+私費外国人留学生募集要項	545792	平成 28 年 11 月上旬
私費外国人留学生募集要項	565682	平成 28 年 11 月上旬

※ 一般入試はインターネット出願により募集するため、一般入試募集要項は本学ホームページからダウンロードして入手してください。

※ 請求にあたっての料金については、テレメールサイト (<http://telemail.jp>) でご確認ください。

(3) あとはガイダンスに従って登録してください。

(1) (2) に関する注意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日のおおむね 2~3 日後に資料が届きます。</li> <li>・ 発送開始日以降に請求された資料は、おおむね 2~3 日後に届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4 日以上かかる場合もあります。また発送開始日の変更になる可能性もあります。なお、5 日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。</li> <li>・ 料金はお届けする資料に同封の支払方法に従い、資料到着後 1 週間以内に表示料金をお支払いください。支払方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い(携帯電話通話料金と一緒にのお支払い)」がご利用になれます。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります(手数料は支払方法によって異なります。) 料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。</li> <li>・ 自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・名前の録音時は、ゆっくりはっきりとお話してください。録音さ</li> </ul>

れた音声の不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ずご登録ください。

・請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますので予めご了承ください。

### 3. 【モバっちょ】携帯電話から請求する場合（推薦入試募集要項のみ）

「モバっちょ」

携帯電話で右のバーコードを読み取り、アクセスしてください。「モバっちょ」では、資料請求料金は携帯電話の通話料金と一緒に支払いただきます。

※携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によってご利用できない場合があります。



#### 3. の請求方法についてのお問い合わせは

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

TEL:050-3540-5005（平日 10:00～18:00）まで

### 4. 窓口で請求する場合

月曜日から金曜日（ただし祝日等を除く。）の8時30分から17時15分まで、入試課窓口で配布します。

### 5. 郵送により請求する場合

必要とする募集要項の種類（推薦入試学生募集要項、帰国生徒特別入試学生募集要項、私費外国人留学生募集要項）を入試課宛の封筒の表に朱書きし、返信用封筒〔角形2号（縦33.2cm×横24cm）〕に郵便番号、住所、氏名を明記し、送料分の切手を同封のうえ、請求してください。請求する募集要項の種別により送料が異なりますので、大学ホームページ（<http://www.nara-edu.ac.jp/admissions/claim1.html>）で確認するか、入試課（TEL：0742-27-9126・E-mail:nyuusi@nara-edu.ac.jp）までお問い合わせください。

なお、返信用封筒のない場合又は切手不足の場合は送付しないことがありますので、注意してください。

（請求先）〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課



# 選抜の実施教科・科目等について

(1/4)

個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の 選抜方法 等	
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配 合 点 計		
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	地域 帰国生徒 外国人 追加合格 欠員補充	
		個別学力検査								300		300		
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300	1,200		
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500		
		個別学力検査								300		300		
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300	800		
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900		地域 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300		
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300	1,200		
その他	小論文	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500		
		個別学力検査								300		300		
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300	800		
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	一般 外国人 追加合格 欠員補充	
		個別学力検査								300		300		
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300	1,200		
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500		
		個別学力検査								300		300		
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300	800		
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900		地域 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300		
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300	1,200		
その他	小論文	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500		
		個別学力検査								300		300		
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300	800		

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		
			教科	科目名等	
教育学部 255名 前期 158名 後期 60名 推薦等 37名	学校 教育 教員 養成 課程	国語教育専修 25名 初等教育履修分野 13名 中等教育履修分野 12名 前期 初等教育履修分野 9名 中等教育履修分野 8名 後期 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名 推薦 地域枠 初等教育履修分野 2名 一般枠 中等教育履修分野 2名	前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1又は2 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 } ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 } ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
			後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科5科目若しくは6科目]
			前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から2 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
			後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から2 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科6科目若しくは7科目] 又は [6教科6科目若しくは7科目]
			前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1又は2 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 } ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 } ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
			後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科6科目若しくは7科目]
		前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1又は2 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 } ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 } ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]	
		後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科6科目若しくは7科目]	
		前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目]	
		後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目]	
		後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目]	
		前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目]	
後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目]			

# 選抜の実施教科・科目等について

(2/4)

個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の 選抜方法 等
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配合 点計	
国語	国語総合、 現代文B、 古典B	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	地域枠 一般枠 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査	300									300	
		計	500	※300	※300	200	※300	200				1,200	
その他	小論文	センター試験	200	※※100	※※100	100	100	100				600	
		個別学力検査								300		300	
		計	200	※※100	※※100	100	100	100		300		900	
その他	小論文	センター試験	200	○200	○200	200	100	200				900	地域枠 一般枠 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300	
		計	200	○200	○200	200	100	200		300		1,200	
その他	小論文	センター試験	100	○200	○200	100	100	100				600	
		個別学力検査								300		300	
		計	100	○200	○200	100	100	100		300		900	
数学	数学Ⅰ、 数学Ⅱ、 数学Ⅲ、 数学A、 数学B (ベクトル、 数列)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	地域枠 一般枠 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査				300						300	
		計	200	※300	※300	500	※300	200				1,200	
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	200	100	100				600	
		個別学力検査								300		300	
		計	100	※※100	※※100	200	100	100		300		900	
理科	「物理基礎・ 物理」、「化学基礎・ 化学」、「生物基礎・ 生物」、「地学基礎・ 地学」 から1★	センター試験	200	※※100	※※100	200	200	200				900	地域枠 一般枠 帰国生徒 外国人
		個別学力検査					300					300	
		計	200	※※100	※※100	200	500	200				1,200	
理科	「物理基礎・ 物理」、「化学基礎・ 化学」、「生物基礎・ 生物」、「地学基礎・ 地学」 から1★	センター試験	200	※※100	※※100	200	200	200				900	
		個別学力検査					400					400	
		計	200	※※100	※※100	200	600	200				1,300	

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		
			教科	科目名等	
教育学部 255名 前期 158名 後期 60名 推薦等 37名	学校 教育 教員 養成 課程	教科 教育 専攻	音楽教育専修 18名 初等教育履修分野 14名 中等教育履修分野 4名  前期 初等教育履修分野 8名 中等教育履修分野 3名  後期 初等教育履修分野 4名 中等教育履修分野 1名  推薦 地域枠 初等教育履修分野 2名	前期 2月25日	国教 地歴 公民理 外 国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
				後期 3月12日	国教 地歴 公民理 外 国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 [5教科5科目若しくは6科目]
				前期 2月25日	国教 地歴 公民理 外 国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
				後期 3月12日	国教 地歴 公民理 外 国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 [5教科5科目若しくは6科目]
				前期 2月25日	国教 地歴 公民理 外 国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
				後期 3月12日	国教 地歴 公民理 外 国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 [5教科5科目若しくは6科目]
			前期 2月25日	国教 地歴 公民理 外 国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]	
			後期 3月12日	国教 地歴 公民理 外 国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 [5教科5科目若しくは6科目]	
			前期 2月25日	国教 地歴 公民理 外 国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]	
			後期 3月12日	国教 地歴 公民理 外 国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 [5教科5科目若しくは6科目]	
			後期 3月12日	国教 地歴 公民理 外 国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 [5教科5科目若しくは6科目]	



# 選抜の実施教科・科目等について

(3/4)

個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の選抜方法等	
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配合		点計
その他	実技検査 (音楽実技) 楽典	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	地域 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							●450				450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450				1,350	
その他	実技検査 (音楽実技) 楽典	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100					500	地域 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							●500				500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	500				1,000	
その他	実技検査 (美術実技)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	地域 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							△450				450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450				1,350	
その他	実技検査 (美術実技)	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100					500	地域 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							△500				500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	500				1,000	
その他	実技検査 (体育実技)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	地域 一般 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							450				450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450				1,350	
その他	実技検査 (体育実技)	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100					500	地域 一般 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							500				500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	500				1,000	
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	地域 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300			300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200		300			1,200	
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100					500	地域 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査									300		300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800	

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		
			教科	科目名等	
教育学部 255名 前期 158名 後期 60名 推薦等 37名	技術教育専修 4名 中等教育履修分野 4名 前期 中等教育履修分野 3名 後期 中等教育履修分野 1名	前期 2月25日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1又は2
			地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2
		外	英・英リ、独、仏、中、韓	から1	
		〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕			
		後期 3月12日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1
			地歴公民理	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1	A又はB
	〔5教科5科目若しくは6科目〕				
	英語教育専修 12名 中等教育履修分野 12名 前期 中等教育履修分野 6名 後期 中等教育履修分野 4名 推薦 一般枠 中等教育履修分野 2名	前期 2月25日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1又は2
			地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2
		外	英・英リ、独、仏、中、韓	から1	
		〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕			
		後期 3月12日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1
地歴公民理			A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1	A又はB	
〔5教科5科目若しくは6科目〕					
書道教育専修 15名 前期 9名 後期 6名	前期 2月25日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1又は2	
		地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2	⇨ A又はB ⇨ C又はD
	外	英・英リ、独、仏、中、韓	から1		
	〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕				
	後期 3月12日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1	
		地歴公民理	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1	から1 ◆	
〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目若しくは5科目〕					
文化遺産教育専修 7名 前期 5名 後期 2名	前期 2月25日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1又は2	
		地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2	⇨ A又はB ⇨ C又はD
	外	英・英リ、独、仏、中、韓	から1		
	〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕				
	後期 3月12日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1	
		地歴公民理	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1	A又はB	
〔5教科5科目若しくは6科目〕					

◆ 書道教育専修志願者で理科を選択する場合は、A又はBから選択すること。

選抜の実施教科・科目等について

(4/4)

個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の 選抜方法 等
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配 合 点 計	
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200		300		1,200	
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500	外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100		300		800	
英語	コミュニケーション 英語基礎 コミュニケーション 英語Ⅰ コミュニケーション 英語Ⅱ コミュニケーション 英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	一般 帰国生 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査						300				300	
		計	200	※300	※300	200	※300	500				1,200	
英語	英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	200				600	外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査						300				300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	500				900	
その他	実技検査 (書道実技)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							450			450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450			1,350	
その他	実技検査 (書道実技)	センター試験	200	◎100	◎100	100 ◎100	◎100	100				500	外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							500			500	
		計	200	◎100	◎100	100 ◎100	◎100	100	500			1,000	
その他	小論文 (選択問題として 造形表現を含む)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							450			450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450			1,350	
その他	小論文 (選択問題として 造形表現を含む)	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500	外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							500			500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	500			1,000	

## 別表1における留意事項

### 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験した場合は、地理歴史、公民及び理科（基礎を付していない科目2科目）については第1解答科目の成績を、数学については高得点の科目の成績を用います。ただし、理科について、基礎を付した科目（2科目合計）及び基礎を付していない科目1科目を受験している場合はどちらか高得点の科目を用います。
- 外国語のうち「英語」を選択した者については、リスニングテストの成績も用います。  
まず、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、更にそれを各専修で定めた配点に換算するものとします。  
なお、大学入試センターリスニングテスト免除者については、筆記試験200点満点を各専修で定めた配点に換算するものとします。
- 理科において、理科①から2科目、理科②から1科目選択する場合、同一名称を含む科目を選択しても構いません。

例：理科①→物理基礎、化学基礎 ← ○  
理科②→化学

### 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- ※は、選択教科を示し、地理歴史、公民及び理科を合わせて4科目以上受験した場合は、次のとおり成績を用います。

受験パターン			成績利用方法
I	地理歴史 公民	2科目	地理歴史、公民の第1解答科目及び次の①かつ② ①理科の基礎を付した科目（2科目合計）と基礎を付していない科目のうち高得点の科目 ②地理歴史、公民の第2解答科目と上記①以外の科目のうち高得点の科目
	理科	基礎を付した科目（2科目合計）及び基礎を付していない科目（1科目）	
II	地理歴史 公民	2科目	地理歴史、公民の第1解答科目及び次の①かつ② ①理科の基礎を付していない科目の第1解答科目 ②地理歴史、公民と理科の基礎を付していない科目の第2解答科目のうち高得点の科目
	理科	基礎を付していない科目2科目	

- ※※は、選択教科を示し、地理歴史、公民の第1解答科目の成績を用います。
- は選択教科を示し、地理歴史、公民から2科目の成績を用います。
- ◎は地理歴史、公民の第1解答科目、理科の基礎を付した科目（2科目合計）、理科の基礎を付していない科目の第1解答科目、数学（数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報）から高得点の成績を用います。
- ★については、選択した科目を入学志願票及び受験票に記入してください。試験当日は、選択した科目しか解答できません。
- の配点内訳は、前期「音楽実技 350点、楽典 100点」、後期「音楽実技 400点、楽典 100点」とします。
- △の配点内訳は、実技検査のうち、紙による立体製作を実技検査点数全体の1/3、静物写生を実技検査点数全体の2/3とします。
- 数学教育専修（前期日程）における個別学力検査の出題範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（ベクトル、数列）です。
- 理科教育専修における個別学力検査の出題範囲は、次のとおりです。
  - ・「物理基礎・物理」は、物理基礎、物理の全範囲から出題します。
  - ・「化学基礎・化学」は、化学基礎、化学の全範囲から出題します。
  - ・「生物基礎・生物」は、生物基礎、生物の全範囲から出題します。
  - ・「地学基礎・地学」は、地学基礎、地学の全範囲から出題します。

実技検査等の内容・評価の観点

専攻・専修		内容・評価の観点																						
音楽教育専修	音楽教育専修	<p><b>【検査内容】</b> 以下の課題により、音楽的能力、理解力及び表現力をみます。</p> <p><b>共通種目</b></p> <p>1. 楽典(和声・楽式を除く) 2. 新曲視唱(8小節程度の旋律を階名視唱する。)</p>																						
		選	<p>A</p> <p>ピアノと声楽</p> <p>1. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章 2. 下記の歌曲の中から1曲を選び歌います。</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) Sebben, crudele</td> <td>Cardara</td> <td>二短調又はホ短調</td> </tr> <tr> <td>(2) Lasciar d'amarti</td> <td>Gasparni</td> <td>へ短調</td> </tr> <tr> <td>(3) Sogno</td> <td>Tosti</td> <td>変ロ長調又は変イ長調</td> </tr> <tr> <td>(4) Ich liebe dich</td> <td>Beethoven</td> <td>へ長調又はト長調</td> </tr> <tr> <td>(5) An die Musik</td> <td>Schubert</td> <td>ハ長調又は二長調</td> </tr> <tr> <td>(6) 浜辺の歌</td> <td>成田為三</td> <td>変イ長調又はへ長調</td> </tr> <tr> <td>(7) 夏の思い出</td> <td>中田喜直</td> <td>へ長調又は変ホ長調</td> </tr> </table>	(1) Sebben, crudele	Cardara	二短調又はホ短調	(2) Lasciar d'amarti	Gasparni	へ短調	(3) Sogno	Tosti	変ロ長調又は変イ長調	(4) Ich liebe dich	Beethoven	へ長調又はト長調	(5) An die Musik	Schubert	ハ長調又は二長調	(6) 浜辺の歌	成田為三	変イ長調又はへ長調	(7) 夏の思い出	中田喜直	へ長調又は変ホ長調
		(1) Sebben, crudele	Cardara	二短調又はホ短調																				
(2) Lasciar d'amarti	Gasparni	へ短調																						
(3) Sogno	Tosti	変ロ長調又は変イ長調																						
(4) Ich liebe dich	Beethoven	へ長調又はト長調																						
(5) An die Musik	Schubert	ハ長調又は二長調																						
(6) 浜辺の歌	成田為三	変イ長調又はへ長調																						
(7) 夏の思い出	中田喜直	へ長調又は変ホ長調																						
目	<p>B</p> <p>管楽器とピアノ</p> <p>1. 管楽器は任意の楽曲又は練習曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章</p>																							
専	<p>C</p> <p>邦楽器とピアノ</p> <p>1. 邦楽器(箏又は三味線)の任意の楽曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章</p>																							
美術教育専修	美術教育専修	<p><b>【評価の観点】</b> ピアノ、声楽・管楽器、新曲視唱、楽典の検査により、音楽科を担当する教師としての資質、音楽的表現力、音楽の知識について評価します。</p> <p><b>【持ち物】</b> 選択種目Bを選択する者は音楽実技種目記入票に記入した楽器を、Cを選択する者は邦楽器を各自持参してください。</p> <p><b>【備考】</b></p> <p>(1) 共通種目2.については、主和音、開始音のみ与えます。 (2) 選択種目はA・B・Cのうち、いずれか1つを選択してください。なお、出願後の変更は認めません。 (3) 選択種目はすべて暗譜で演奏してください。 (4) ピアノ、声楽及び管楽器の楽曲は、繰り返しを行わないこととします。 (5) 管楽器、邦楽器については、リハーサル室を設けますが、ピアノと声楽については、リハーサル室はありません。ただし、決められた教室で発声練習はできます。 (6) 選択種目Bの管楽器は、吹奏楽で使用される管楽器に限ります。 (7) 選択種目は入学後の専門領域を意味するものではありません。</p>																						
		<p><b>【検査内容】</b> 以下の2課題を行います。</p> <p>1. 紙による立体製作 1課題 1時間 2. 静物写生(A3判画用紙の大きさに描く) 1課題 2時間 上記の合計3時間のほかに、「説明及び準備時間」をとります。</p> <p><b>【評価の観点】</b></p> <p>1の課題について 紙による立体製作課題により、発想・構想に工夫は見られるか、紙の特徴を生かしたつくり方をしているか、などを総合的にみます。</p> <p>2の課題について 静物写生課題により、形、材質感を捉えて表現できたか、色や画面構成は良いかなどを総合的にみます。 1、2の課題を通じて、図画工作や美術の授業で、子どもたちに創造活動の楽しさを味わわせることができる資質が備わっているのかをみます。</p> <p><b>【持ち物】</b> はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式(アクリル系絵の具は不可)、パレット、筆、水入れ、雑巾を持参してください。見取り枠は使用不可です。 なお、立体製作の紙、カッターマット、定規、のり、セロテープ、ホッチキス、静物写生の紙、画板、イーゼルは、大学で用意するので不要です。</p>																						
		<p><b>【検査内容】</b> 以下の3領域において、5種目の検査を行います。</p> <p>1. 陸上運動(50m走及びハンドボール投げ) 2. 器械運動(鉄棒運動及びマット運動) 3. ボール運動(ドッジボールを使った運動)</p> <p><b>【評価の観点】</b> 上記の課題によって、基本的な運動能力を総合的に評価します。</p> <p><b>【持ち物】</b> 運動靴(屋内用と屋外用の2足)・運動服を持参してください。</p> <p><b>【備考】</b></p> <p>(1) スパイクシューズの使用は認めません。 (2) 着替えやウォーミングアップについては、集合時に指示します。 (3) 雨天時には、上記の実技内容が一部変更されることがあります。</p>																						
伝統文化教育専攻	書道教育専修	<p><b>【検査内容】</b> 以下の課題により、高校『書道I』、『書道II』教科書に掲載されている古典程度の基礎的な書道の表現能力をみます。</p> <p>1. 臨書 漢字(楷書・行書)、仮名。いずれも半紙使用 2. 創作 半紙使用(漢字及び仮名の課題を指定するので、いずれかを選択して創作してください。)</p> <p><b>【評価の観点】</b></p> <p>1の課題について 課題となっている古典の特徴を捉え、点画の用筆表現ができていないか、指定された文言が半紙にバランスよく収めることができているかをみます。</p> <p>2の課題について 漢字、仮名ともに、基本点画の用筆法ができていないか、文字構造がしっかり形どられているかをみます。 1、2の課題を総合的に採点し評価します。</p> <p><b>【持ち物】</b> 太筆(半紙6字書き程度)、仮名用細筆、墨(墨汁も可)、硯、文鎮、練習用半紙、下敷(半紙用)を持参してください。</p>																						

別表 3

## 小論文の内容・評価の観点

専攻・専修		区分	内容・評価の観点
教育発達専攻	教育学専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、各専修からの問題1問、計2問出題します。)
	心理学専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、各専修からの問題1問、計2問出題します。)
		後期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。
	幼年教育専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、各専修からの問題1問、計2問出題します。)
	特別支援教育専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、各専修からの問題1問、計2問出題します。)
後期日程		教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。	
教科教育専攻	国語教育専修	後期日程	与えられた課題文を正確に読解し、論理的に自分の考えや意見を述べることができるかどうか、また、日本語の基礎的な知識と表現力を備えているかどうかをみます。
	社会科教育専修	前期日程	現代の社会に関する諸問題についての関心や知識を幅広く持っていることをみるために、人文、社会等の分野から選んだテーマに即して論述解答させます。出題の意図を正確に把握し、論理的に自分の考えや意見を述べるができるかどうかをみます。
		後期日程	現代の家庭生活をとりまく諸問題について、関心や知識を幅広く持っているかをみます。出題の意図を理解し、論理的に自分の考えが述べられているかどうか、文章構成力・表現力があるかどうかをみます。
	技術教育専修	前期日程	技術、ものづくりに関する意見、考え方、発想などを問う問題を出題し、記述の論理性と説得性、発想の豊かさ、文章表現力などを総合的に評価します。
伝統文化教育専攻	文化遺産教育専修	前期日程	まず文化遺産とその教育への活用方法に対する考え方を総合的にみます。さらに、中学校美術免許取得を希望する者に対しては、与えられたモチーフの形体、材質感などを的確に捉えて抽出できたか、また構成は良いかなどに関する造形表現力をみます。中学校理科免許取得を希望する者に対しては、文化遺産に関連する自然科学の理解と認識をみます。 【持ち物】鉛筆・消しゴムを持参してください。
		後期日程	まず文化遺産に関する基礎知識と、対象観察力・文章表現力を総合的にみます。さらに、中学校美術免許取得を希望する者に対しては、与えられたモチーフの形体、材質感などを的確に捉えて抽出できたか、また構成は良いかなどに関する造形表現力をみます。中学校理科免許取得を希望する者に対しては、文化遺産に関連する自然科学の理解と認識をみます。 【持ち物】鉛筆・消しゴムを持参してください。

別表 4

## 面接の内容・評価の観点

専攻・専修		区分	内容・評価の観点
達教育専攻	教育学専修	後期日程	集団面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。
	幼年教育専修	後期日程	集団面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育(保育)についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。
教科教育専攻	数学教育専修	後期日程	〔初等教育履修分野〕 個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(ベクトル、数列)に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
			〔中等教育履修分野〕 個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(ベクトル、数列)に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	家庭科教育専修	後期日程	個人面接の形式で、本専修を志望した動機、入学後の学習計画、教科内容に関する知識、教職への意欲について問い、関心・意欲・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
技術教育専修	後期日程	個人面接の形式で、本学を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。	

別表5 (その1)

## 平成29年度特別入試方法 推薦入試(一般枠)

実施学部	教育学部			
募集人員及び推薦人員	推薦人員は、1校につき2名以内とします。地域枠との併願が可能です。			
	専攻・専修・履修分野		募集人員	
	教育発達専攻	幼年教育専修	2名	
	教科教育専攻	国語教育専修	中等教育履修分野	2名
		社会科教育専修	中等教育履修分野	2名
		数学教育専修	中等教育履修分野	2名
		理科教育専修	中等教育履修分野	2名
		保健体育専修	中等教育履修分野	2名
	英語教育専修	中等教育履修分野	2名	
合 計		14名		
出願要件	次の各号に該当し、かつ、本学が指定した平成29年度大学入試センター試験の教科・科目を受験する者			
	(1) 高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）を平成29年3月卒業見込みの者、若しくは学校教育法施行規則第93条第3項の規定により平成28年度の途中において卒業した者、又は文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年3月修了見込みの者			
	(2) 出身学校の学業成績が優秀で、人物に優れ、かつ、学習意欲が旺盛で、学校長が責任をもって推薦できる者			
	(3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 なお、全体の評定平均値については、第3学年第1学期（2学期制の高等学校等については、前期）までのもので算出してください。			
	(4) 合格した場合は、入学することを確約できる者			
大学入試センター試験の利用教科・科目名				
	専攻・専修	教科	科目名等	
教育発達専攻	幼年教育専修	国 数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A } 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 } から1	
		地歴 公民 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } から1又は2	
教科教育専攻	国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 英語教育専修	地歴公民から2科目 選択した場合	A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1	
		地歴公民から1科目 選択した場合	C 物基、化基、生基、地基 から2 } C又はD 及び 物、化、生、地 から1	
		外	D 物、化、生、地 から2 } から1 英・英リ、独、仏、中、韓 } から1	
〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕				
教科教育専攻	保健体育専修	国 数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A } 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 } から1	
		外	英・英リ、独、仏、中、韓 } から1 〔3教科3科目〕	
選 抜 方 法	出身学校長の推薦に基づき、個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、自己申告書、大学入試センター試験の成績及び面接等の結果を総合して選抜します。ただし、保健体育専修を志願する者はスポーツ・運動歴調書を含めます。 <b>なお、一般枠と地域枠の両方を受験した者のうち、地域枠で合格した者は一般枠では不合格とし、地域枠での合格を優先します。</b>			
出 願 期 間	平成28年11月4日（金）から平成28年11月10日（木）まで （「書留速達郵便」により郵送してください（持参不可）。平成28年11月10日（木）までの消印のあるものを有効とします。）			
試 験 期 日	平成28年12月17日（土）			
合 格 発 表 日	平成29年2月8日（水）			

実施学部	教育学部																														
募集人員及び推薦人員	<p>出願要件(1)～(4)を満たす場合の推薦人員は、1校につき3名以内とします。また、出願要件(1)～(4)に加えて出願要件(5)を満たす場合は、1校あたり更に3名以内の推薦を認めます。一般枠との併願が可能です。</p> <table border="1" data-bbox="363 349 1046 725"> <thead> <tr> <th colspan="2">専攻・専修・履修分野</th> <th>募集人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">教育発達専攻</td> <td>教育学専修</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>心理学専修</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育専修</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">教科教育専攻</td> <td>国語教育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>社会科教育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>数学教育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>理科教育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>音楽教育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>美術教育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>保健体育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>家庭科教育専修</td> <td>初等教育履修分野 1名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>23名</td> </tr> </tbody> </table>	専攻・専修・履修分野		募集人員	教育発達専攻	教育学専修	3名	心理学専修	3名	特別支援教育専修	2名	教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野 2名	社会科教育専修	初等教育履修分野 2名	数学教育専修	初等教育履修分野 2名	理科教育専修	初等教育履修分野 2名	音楽教育専修	初等教育履修分野 2名	美術教育専修	初等教育履修分野 2名	保健体育専修	初等教育履修分野 2名	家庭科教育専修	初等教育履修分野 1名	合計		23名
専攻・専修・履修分野		募集人員																													
教育発達専攻	教育学専修	3名																													
	心理学専修	3名																													
	特別支援教育専修	2名																													
教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野 2名																													
	社会科教育専修	初等教育履修分野 2名																													
	数学教育専修	初等教育履修分野 2名																													
	理科教育専修	初等教育履修分野 2名																													
	音楽教育専修	初等教育履修分野 2名																													
	美術教育専修	初等教育履修分野 2名																													
	保健体育専修	初等教育履修分野 2名																													
	家庭科教育専修	初等教育履修分野 1名																													
合計		23名																													
出願要件	<p>次の各号〔(1)～(4)または(1)～(5)〕に該当し、かつ、本学が指定した平成 29 年度大学入試センター試験の教科・科目を受験する者</p> <p>(1) 奈良県内の高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）を平成 29 年 3 月卒業見込みの者及び平成 28 年 3 月に卒業した者、若しくは学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定により平成 28 年度の途中において卒業した者</p> <p>(2) 将来にわたり奈良県下の学校教員として活躍を期待するに十分な意欲、資質、適性等を有すると思われる者で、出身学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 将来、奈良県下の学校教員として活躍する強い意志を有する者</p> <p>(5) 高等学校在学中（在学中の学生については、出願前の学期まで）に教育に関する科目、ボランティア活動に関する科目のいずれかの科目の単位を 4 単位以上修得した者</p> <table border="1" data-bbox="485 1184 1394 1496"> <thead> <tr> <th colspan="3">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国数</td> <td>国</td> <td rowspan="2">必須 から 1</td> </tr> <tr> <td>数 I、数 I・数 A 数 II、数 II・数 B、簿、情報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地歴公民</td> <td>世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B</td> <td rowspan="2">から 1</td> </tr> <tr> <td>現社、倫、政経、倫政経</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理</td> <td>A 物基、化基、生基、地基 から 2</td> <td rowspan="2">A 又は B</td> </tr> <tr> <td>B 物、化、生、地 から 1</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英・英リ、独、仏、中、韓</td> <td>から 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>[5教科5科目若しくは6科目]</p>	大学入試センター試験の利用教科・科目名			教科	科目名等		国数	国	必須 から 1	数 I、数 I・数 A 数 II、数 II・数 B、簿、情報	地歴公民	世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B	から 1	現社、倫、政経、倫政経	理	A 物基、化基、生基、地基 から 2	A 又は B	B 物、化、生、地 から 1	外	英・英リ、独、仏、中、韓	から 1									
大学入試センター試験の利用教科・科目名																															
教科	科目名等																														
国数	国	必須 から 1																													
	数 I、数 I・数 A 数 II、数 II・数 B、簿、情報																														
地歴公民	世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B	から 1																													
	現社、倫、政経、倫政経																														
理	A 物基、化基、生基、地基 から 2	A 又は B																													
	B 物、化、生、地 から 1																														
外	英・英リ、独、仏、中、韓	から 1																													
選抜方法	<p>出身学校長の推薦に基づき個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、自己申告書、公的な受賞歴・競技会・コンクール等への参加歴及び公的な資格調書、大学入試センター試験の成績及び面接等の結果を総合して選抜します。また、音楽教育専修では実技試験を行います。美術教育専修を志願する者は「&lt;制作作品や活動&gt;の実物またはその写真や資料」及び「&lt;美術作品、美術活動&gt;証明書」を、保健体育専修を志願する者はスポーツ・運動歴調書を含めます。</p> <p><b>なお、一般枠と地域枠の両方を受験した者のうち、地域枠で合格した者は一般枠では不合格とし、地域枠での合格を優先します。</b></p>																														
出願期間	平成 28 年 11 月 4 日（金）から平成 28 年 11 月 10 日（木）まで （「書留速達郵便」により郵送してください（持参不可）。平成 28 年 11 月 10 日（木）までの消印のあるものを有効とします。）																														
試験期日	平成 28 年 12 月 17 日（土）																														
合格発表日	平成 29 年 2 月 8 日（水）																														



別表5 (その3)

## 推薦入試にかかる面接の内容・評価の観点

(一般枠)

専攻	専修・履修分野		内容・評価の観点
教育発達 専攻	幼年教育専修		個人面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育(保育)についての問題意識、教育(保育)への意欲、保育者としての資質などを見て、評価します。
教 科 教 育 専 攻	国語教育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、中等教育に対する理解、関心や期待、国語に関する諸問題等について問い、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を評価します。
	社会科教育専修	中等教育履修分野	集団面接の形式で、教育に対する理解、関心や期待、現代社会が抱える諸問題等について問い、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を評価します。ただし、志願者数等により、個人面接となることがあります。
	数学教育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(ベクトル、数列)に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志望者数により、集団面接となることがあります。
	理科教育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、教科内容に関する知識、教職への意欲について問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	保健体育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、 (1)「自己申告書」の内容をふまえ、現代の教育実践に対する理解や関心並びに教職への意欲をみて、評価します。 (2)提出された「スポーツ・運動歴調書」をふまえ、保健体育を担当する教員としての資質を評価します。 ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	英語教育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、教育に対する理解、関心や期待、英語、英語教育及び国際理解教育に関する諸問題等について問い、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を評価します。

別表5（その4）

## 推薦入試にかかる面接の内容・評価の観点

（地域枠）

専攻	専修・履修分野		内容・評価の観点
教育 発達 専攻	教育学専修		個人面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。
	心理学専修		志望の動機、将来、奈良県下の学校教員として活躍する強い意志、教職への意欲、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を個人面接及び自己申告書の内容を見て評価します。特に子どもの心理的特徴をふまえた教育実践を行える教員となる意欲や態度を評価します。
	特別支援教育専修		志望の動機、将来、奈良県下の学校教員として活躍する強い意志、教職への意欲、教員としての資質、学習意欲、子どもの発達・教育についての問題意識等を個人面接および自己申告書の内容を見て評価します。
教 科 教 育 専 攻	国語教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、初等教育に対する理解、関心や期待、国語に関する諸問題等について問い、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を評価します。
	社会科教育専修	初等教育履修分野	集団面接の形式で、小学校教員への志望動機、社会科教育専修で学びたい理由、奈良県という地域への見方などをみて評価します。志願者数によっては個人面接になることもあります。
	数学教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（ベクトル、数列）に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	理科教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、教職への意欲と特に奈良県の小学校教員をめざす動機と意志を確認したうえで、入学後の学習計画、教科内容に関する知識について問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	音楽教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、 (1)「自己申告書」の内容をふまえ、現代の教育実践に対する理解や関心並びに地域の初等教育への意欲をみて評価します。 (2)「適性をみるため新曲視唱及びピアノ演奏もしくは弾き歌い」をふまえ、音楽を担当する教員としての資質を評価します。
	美術教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、 (1)「自己申告書」の内容をふまえ、現代の教育実践に対する理解や関心並びに教職への意欲をみて評価します。 (2)提出された「＜美術作品または美術的な活動＞証明書」及び「その実物又は写真」をふまえ、図画工作・美術に関する興味や関心を問い、この分野に強みをもつ小学校教員としての資質を評価します。
	保健体育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、 (1)「自己申告書」の内容をふまえ、現代の教育課題についての理解や関心、ならびに教職への意欲をみて、評価します。 (2)「スポーツ・運動歴調査」をふまえ、小学校教員としての資質を評価します。 ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
家庭科教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、本専修を志望した動機、入学後の学習計画、教科内容に関する知識、教職への意欲について問い、関心・意欲・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。	

別表5（その5）

## 推薦入試（地域枠）にかかる実技検査の内容・評価の観点

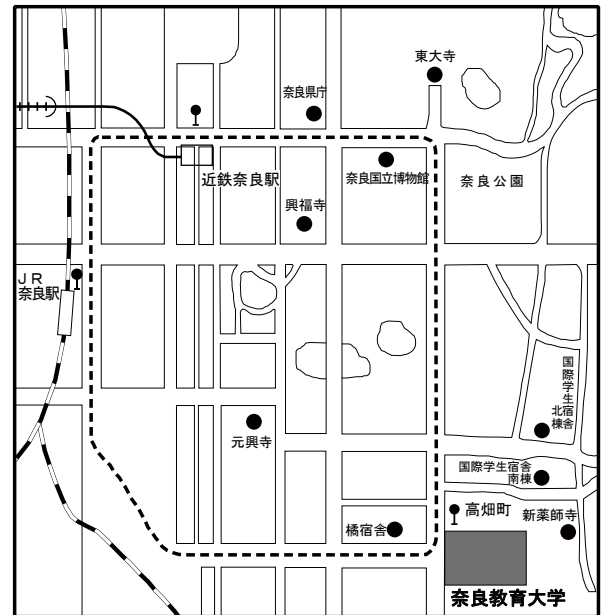
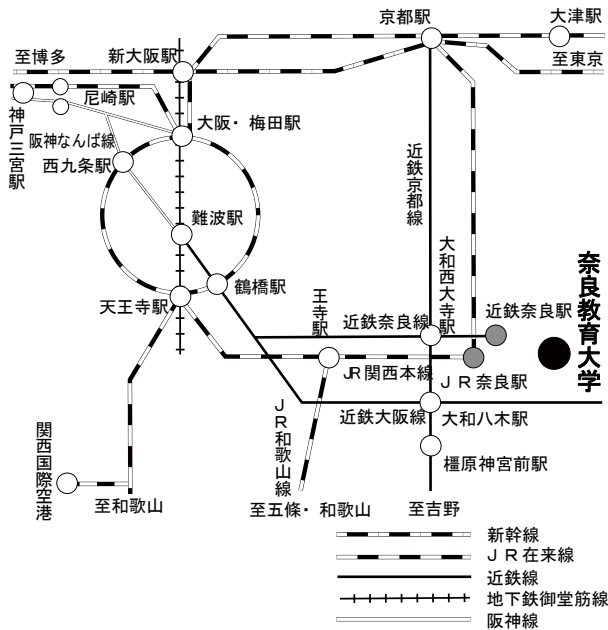
専攻・専修	内容・評価の観点
教科教育専攻 音楽教育専修	<p>【実技検査の内容及び評価の観点】</p> <p>以下の課題により、音楽的能力、理解力、表現力をみます。</p> <p>(1)新曲視唱（8小節程度の旋律を階名視唱する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開始音、主和音を与えます。</li> </ul> <p>(2)以下の2種目から選択し、暗譜で5分以内の演奏をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 任意のピアノ曲</li> <li>b. 任意の歌曲のピアノ伴奏による弾き歌い</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏する曲の曲名、調性、作曲者名を入学志願票に記入してください。</li> </ul>

## 平成 29 年度特別入試方法（帰国生徒）

実施学部	教育学部			
募集人員	専攻・専修・履修分野		募集人員	
	教育発達専攻	教育学専修	若干名	
	教科教育専攻	理科教育専修	初等教育履修分野	若干名
			中等教育履修分野	
	英語教育専修	中等教育履修分野		
出願要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者（保護者帰国後 1 年未満の滞在は可）で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者</p> <p>(1) 基礎資格</p> <p>次のいずれかに該当する者で、平成 29 年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者</p> <p>ア. 学校教育における 12 年の課程を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者</p> <p>イ. 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>ウ. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>エ. フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>(2) 要件</p> <p>次に掲げるすべての要件に該当すること。</p> <p>ア. 平成 27 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの間に基礎資格を取得していること。</p> <p>イ. 12 年の課程には日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれるが、外国において最終学年を含めて 2 年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているか、または、日本の教育制度の中学校及び高等学校に相当する期間のうち、外国において中学校ないし高等学校に通算 3 年以上在籍した者（ただし、日本の高等学校等の在籍期間は 2 年以内の者）</p> <p>(注) 外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けた者とはみなされません。</p> <p>出願資格について疑問のある場合は、事前にお問い合わせください。</p>			
選抜方法	大学入試センター試験を免除し、出願書類（自己推薦書、成績証明書等（調査書））、小論文及び面接等の結果を総合して選抜します。			
出願期間	平成 28 年 10 月 7 日（金）から平成 28 年 10 月 13 日（木）まで （郵送による場合は、「書留速達郵便」により送付してください。平成 28 年 10 月 13 日（木）までの消印のあるものを有効とします。）			
試験期日	平成 28 年 11 月 13 日（日）			
合格発表日	平成 28 年 11 月 17 日（木）			

実施学部	教育学部																																																							
募集人員	各専修若干名																																																							
出願要件	<p>下記の資格をすべて有する者  (1) 外国籍を有する者（ただし、日本国の永住許可を得ている者は対象としません。）で、次の各号のいずれかに該当する者  (ア) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 29（2017）年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者  (イ) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で平成 29（2017）年 4 月 1 日現在 18 歳に達している者  (ウ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で平成 29（2017）年 4 月 1 日現在 18 歳に達している者  (エ) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で平成 29（2017）年 4 月 1 日現在 18 歳に達している者  (2) 平成 28（2016）年度に 2 回実施された独立行政法人日本学生支援機構の『日本留学試験』のうちのいずれかを受験した者で、次の各号のすべてに該当する者  ① 各専修が指定する教科及び科目を受験した者。  ② 日本語 250 点以上の成績を修めた者。ただし、日本語は、読解、聴解・聴読解、記述の 3 領域を含む。  ③ 数学、総合科目の合計点 210 点以上、もしくは数学、理科の合計点 220 点以上の成績を修めた者。  ※本学を受験するにあたり、必要な日本留学試験の教科及び科目について ○：必須、△：選択</p>																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">専攻名</th> <th rowspan="2">専修名</th> <th colspan="4">教科</th> <th rowspan="2">出題言語</th> </tr> <tr> <th>日本語</th> <th>数学</th> <th>総合科目</th> <th>理科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">教育発達専攻</td> <td>教育学専修</td> <td rowspan="4">○</td> <td rowspan="4">○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択</td> <td rowspan="4">○</td> <td rowspan="4">△</td> <td rowspan="12">日本語 又は 英語を 選 択</td> </tr> <tr> <td>心理学専修</td> </tr> <tr> <td>幼年教育専修</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育専修</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">教科教育専攻</td> <td>国語教育専修</td> <td rowspan="10">○</td> <td rowspan="10">○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択</td> <td rowspan="2">△</td> <td rowspan="2">△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択</td> </tr> <tr> <td>社会科教育専修</td> </tr> <tr> <td>数学教育専修</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">△</td> <td rowspan="2">△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択</td> </tr> <tr> <td>理科教育専修</td> </tr> <tr> <td>音楽教育専修</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">△</td> <td rowspan="2">△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択</td> </tr> <tr> <td>美術教育専修</td> </tr> <tr> <td>保健体育専修</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">△</td> <td rowspan="2">△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択</td> </tr> <tr> <td>家庭科教育専修</td> </tr> <tr> <td>技術教育専修</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">△</td> <td rowspan="2">△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択</td> </tr> <tr> <td>英語教育専修</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伝統文化教育専攻</td> <td>書道教育専修</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>文化遺産教育専修</td> </tr> </tbody> </table>	専攻名	専修名	教科				出題言語	日本語	数学	総合科目	理科	教育発達専攻	教育学専修	○	○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択	○	△	日本語 又は 英語を 選 択	心理学専修	幼年教育専修	特別支援教育専修	教科教育専攻	国語教育専修	○	○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択	社会科教育専修	数学教育専修	○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択	理科教育専修	音楽教育専修	○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択	美術教育専修	保健体育専修	○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択	家庭科教育専修	技術教育専修	○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択	英語教育専修	伝統文化教育専攻	書道教育専修	○	○	○	○	文化遺産教育専修
専攻名	専修名			教科					出題言語																																															
		日本語	数学	総合科目	理科																																																			
教育発達専攻	教育学専修	○	○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択	○	△	日本語 又は 英語を 選 択																																																		
	心理学専修																																																							
	幼年教育専修																																																							
	特別支援教育専修																																																							
教科教育専攻	国語教育専修	○	○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択																																																			
	社会科教育専修																																																							
	数学教育専修			○	△		△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択																																																	
	理科教育専修																																																							
	音楽教育専修			○	△		△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択																																																	
	美術教育専修																																																							
	保健体育専修			○	△		△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択																																																	
	家庭科教育専修																																																							
	技術教育専修			○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択																																																		
	英語教育専修																																																							
伝統文化教育専攻	書道教育専修	○	○	○	○																																																			
	文化遺産教育専修																																																							
選 抜 方 法	大学入試センター試験を免除し、日本留学試験の成績と、本学で実施する試験の成績・面接等の結果を総合して選抜します。																																																							
出 願 期 間	平成 29 年 1 月 4 日（水）から平成 29 年 1 月 10 日（火）まで （郵送による場合は、「書留速達郵便」により送付してください。平成 29 年 1 月 10 日（火）までの消印のあるものを有効とします。）																																																							
試 験 期 日	平成 29 年 2 月 5 日（日）																																																							
合 格 発 表 日	平成 29 年 2 月 8 日（水）																																																							

# 奈良教育大学への順路



----- 市内循環バス

## 京都から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

## 新大阪から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

## 大阪から

JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

## 難波から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

## 天王寺から

JR大和路快速で、JR奈良駅まで約30分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

JR大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

## 神戸三宮から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

## 関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ